

2008 年度

科目名  文化財資料論Ⅲ（美術・工芸）	対象学科・学年 文学部文財2回生	担当者  吉原 忠雄
授業テーマ 美術工芸資料の内容・材質・構造・技法を学ぶ		
授業の概要と目標 日本の美術工芸は、絵画・彫刻・工芸などであるが、それぞれに内容が広く、複雑多岐にわたる。それに伴い、材質・構造・技法も複雑である。 本年は、各分野の基礎的知識の説明を行うので、習得に努めてもらいたい。		
評価方法 出席とレポートにより評価する。		
テキスト	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 はじめに 2 絵画（1）仏教絵画（1） 3 絵画（2）仏教絵画（2） 4 絵画（3）仏教絵画（3） 5 絵画（4）絵巻物 6 絵画（5）水墨画 7 絵画（6）近世絵画（1） 8 絵画（7）近世絵画（2） 9 彫刻（1）仏像（1） 10 彫刻（2）仏像（2） 11 彫刻（3）神像・肖像 12 工芸（4）金属工芸 13 工芸（5）工芸 14 工芸（6）磁器 15 まとめ		